広報 ひろしま
市民と市政
1/15
2024 令和6年
NO.1793

主な内容

2～3 自転車のルールを再確認しよう／当番医の適正受診を／病児・病後児保育室のご利用を／公的職業訓練 など
4～5 特集 税の申告
6～8 くらしのガイド、施設のイベント

◀広報紙がスマホで読めます(10言語対応)

育てる楽しさ 収穫の喜び

郊外の新鮮な空気と土の香りに包まれる市民農園。自分の手で作物の種をまき、育て、収穫することができます。
問農林水産振興センター農林振興課(☎845-4347、FAX845-4350)

1

2

3

4

5

6

7

農作業で人生も実りの日々

安佐北区には、市民が野菜や花作りを手軽に楽しめる貸し農園「市民農園」があります。

安佐町久地の三国(みくに)市民農園で1区画を利用している石田文彦さん(63・安佐南区・写真3左)は、利用1年目。定年退職を前に、趣味を見つけたいと考えていた時、農園のことを知り、応募しました。毎週末、夫妻で通っています。

「25平方メートルはちょっと広すぎるかなと、最初は思いました。でも始めると楽しくて、今では少し狭く感じるくらい。夏にはトウモロコシやナス、枝豆、秋にはサツマイモ、ジャガイモ、大根などを収穫しました。丁寧に育てる分、芽が出てから実るまで、感動の連続ですよ。自分で作った野菜が食卓に上るので、妻との会話も弾みます。収穫は娘家族が手伝ってくれることもあり、孫に会う回数も格段に増えました」と顔をほころばせます。

充実した設備、イベントも

市民農園には大きく三つの特徴があります。一つ目は、設備が充実していること。駐車場や休憩所、給水施設などを備えています。二つ目は、利用者同士の交流ができること。同センターが主催するケチャップ作り体験や収穫祭などに参加できます。三つ目は、野菜作り初心者向けのサポートがあること。栽培講習会や巡回指導を定期的に実施しています。

農園は4月から翌年3月まで年間を通じて利用できます。季節ごとの収穫を楽しみに農作業してみませんか。

1三国市民農園 2収穫したてのニンジン 3・4農園を利用している石田さん夫妻と娘さん家族 5収穫間近の大根 6ケチャップ作り体験 7保育園が利用する区画で収穫体験をする園児

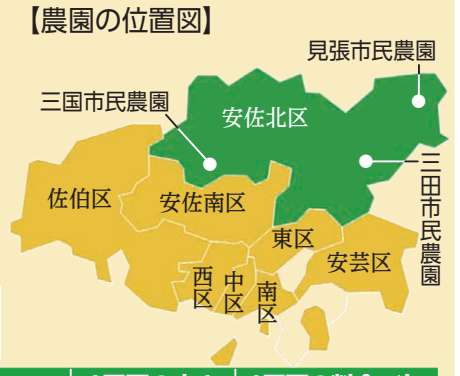
この記事は、主に右記SDGs(エスディージーズ)のゴールの達成に役立つものです。
【SDGs…持続可能な開発目標】

3 すべての人に健康と福祉を

2月1日㈭から 令和6年度市民農園利用者募集

受け付け期間は、2月1日㈭から15日㈭まで(16日㈮以降、空きがあれば随時募集)。新規入園や複数の区画を利用する場合は、料金の割引があります。見学も可(要予約)。詳しくは、農林水産振興センターホームページか上記へお問い合わせを。

【農園の位置図】



農園名	所在地	1区画の広さ	1区画の料金／年
三国市民農園	安佐北区安佐町久地	25平方メートル	7,500円
見張(みはる)市民農園	安佐北区白木町井原・小越	50平方メートル	2万9000円
三田(みた)市民農園	安佐北区白木町三田5816		3万9000円

編集・発行:広島市広報課(〒730-8586 中区国泰寺町一丁目6-34 ☎082-504-2117、FAX082-504-2067)